第110回長崎大学ＦＤ実施報告書（平成２６年 ９月１８日提出）

１．題　目：入試問題作成に関するＦＤ

２．日　時：　平成２６年 ９月 １日（月）１４：００～１７：３０

３．場　所：　教養教育講義棟Ａ１４教室

４．主　催：大学教育イノベーションセンター

５．対　象：全教員（特に入試に関する業務を担当する教員）

６．長崎大学ＦＤに関する指針第二項への該当について【複数選択可】
（該当するものに○を記入すること）
[　　]⑴　教員の教育活動に関するもの
[　　]⑵　カリキュラムの改善に関するもの
[　　]⑶　教育の組織的改善に関するもの
[　○　]⑷　入学者選抜方法の改善に関するもの
[　　]⑸　その他教育改善及び入学者選抜方法の改善に関するもの

７．今回のＦＤの趣旨・意義（６．に関連した形で記述すること）
入試問題作成に関して２つの観点からノウハウ等を学ぶことで作題体制を強化し，アドミッション・ポリシーに沿った入学者選抜を実施するもの。
①入試における標準的な好ましい面接について．ロールプレイを含めたガイダンス，解説を行う。
②学習指導要領改訂により思考力・判断力・表現力の育成が重視されるようになり，大学入学者選抜においても知識・技能の側面だけではなく思考力・判断力・表現力等について問うバランスよい出題が求められていることから，高校での学習によって育まれた思考力・判断力・表現力等をどのように評価すればよいか，中教審等での議論をふまえ，本学の具体例を紹介しながら概説する。

８．プログラム構成［題目・担当講師］（当日使用した資料等を添付すること）

	司会・進行	星野由雅　副学長（入試担当）
14：00～14：05	開会挨拶	片峰　茂　学長
14：05～14：10	趣旨説明	星野由雅　副学長（入試担当）

14：10～16：10　講　演　「入試における好ましい面接の行い方」

講　師　今城　志保　先生
株式会社リクルートマネジメントソリューションズ
組織行動研究所　主任研究員

16：10～16：20　休　憩

16：20～17：30　講　演　「思考力・判断力・表現力を問う入試問題とは何か」

講　師　吉村　宰　教授
長崎大学大学教育イノベーションセンター
アドミッション部門長

閉会挨拶　星野由雅　副学長（入試担当）

９．参加者：　２７名

（内訳）

所　　属	人　数
多文化社会学部	4
教育学部	4
経済学部	1
医歯薬学総合研究科（医）	2
医歯薬学総合研究科（保）	3
医歯薬学総合研究科（歯）	1
工学研究科	8
水産・環境科学総合研究科（環境）	2
水産・環境科学総合研究科（水産）	2
計	２７

※　別紙に参加者名簿を添付してください。

１０．実施したＦＤの成果等

（１）参加者からの評価（アンケートの集計結果を記述する）【回答者 15 名】

Q1．役職は？

教授：5　准教授：8　助教：2

Q2．内容は？

よかった：5　まあまあ良かった：6　あまり良くなかった：1　未回答：3

●次回開催の希望テーマ

・高校の学習指導要領について

・大学受験生はどういう受験テクニックを学んでいるのか

●入試・作題に対する要望
・負担軽減
・批判的思考等を求めた試験の評価方法について
・高校の先生も作題委員・点検委員に入れてみては
・国内外の良問を紹介してほしい
・他大学の論理的思考力を問う問題の事例があれば教えてほしい
●感想
・面接について方法論を考えるのは新鮮だった。面接は公平さを保つのが難しいと感じていたが、少し解決出来る方向になるかと思った。
・面接のロールプレイ、実際にやってみると参考になった。
・思考力・判断力・表現力を問う入試も枠組みを整理した説明を聞いて、位置づけや目指すところが理解できた。
・学内の事例では、解答例と採点基準、受験生の実態を示してほしかった。
・合格した学生が当初の見込み通りであったかをどう評価すればよいのか分析方法のあり方と、その面接試験へのフィードバックの具体的なあり方をもう少し詳しく知りたい。
・分かりやすく整理することができた。
・入試の今後の動向が分かって有意義だった。

（２） 総　括（１０（１）を踏まえＦＤ全体の総括を記述する）

本 FD では，始めに片峰学長にご挨拶いただき，大学入試の大学教育における位置づけ及び社会との関わり，さらに最近の大学入試改革の動向について人材育成の観点からお話しいただいた。次に，本 FD の趣旨説明を私（副学長（入試担当））から行い，入学者選抜には多面的・総合的な評価が求められており，今後益々面接の重要性が増すこと，その精度を上げることで求める学生像（アドミッション・ポリシー）に沿った入学者を選抜できることを述べた。また，思考力・判断力・表現力を問う問題については，教員の共通の認識の下で導入を図りたい趣旨で本 FD を企画したことを述べた。

趣旨説明に続いて，株式会社ﾘｸルートマネジメントソリューションズ組織行動研究所主任研究員の今城志保先生より，「入試における好ましい面接の行い方」について講演をいただくとともに，後半にはロールプレイを取り入れ好ましい面接について解説いただいた。参加者からのアンケート結果にもあるように，受講者は面接に関して理解を深めるとと共にロールプレイにより好ましい面接の行い方をある程度習得したことが窺える。一方，合格した学生の入学後の評価方法とその分析結果を面接試験にどうフィードバックすればよいのか，その点を詳しく知りたかった受講者もいた。今後は，面接試験の行い方がどの程度求める学生像にマッチした入学者選抜に寄与したかを具体的データと共に示すことで，より効果的な FD が図られるものと考える。

2つめは，大学教育イノベーションセンターアドミッション部門長の吉村　宰先生に「思考力・判断力・表現力を問う入試問題とは何か」と題して講演をいただいた。受講者のアンケートには，「思考力・判断力・表現力を問う入試も枠組みを整理した説明を聞いて、位置づけや目指すところが理解できた。」とあり，概ね教員の思考力・判断力・表現力を問う問題に関する共通認識は得られたと考えている。ただ，「学内の事例では、解答例と採点基準、受験生の実態を示してほしかった。」との記述もあるように，導入に際してのより具体的な事項について今後のFDで取り上げていく必要がある。

全体の評価は，比較的良好であったが，参加者数が27名とそれほど多くなかった。今後の入試改革を進めて行くに当たっては，全学的な取り組みが求められるため，より多くの教員に入試に関するFDに参加してもらう工夫が望まれる。

（文責：星野　由雅）

１１．実施代表者の連絡先

部　局：大学教育イノベーションセンター
職　名：センター長　　氏　名：松坂　誠應
e-mail：nobuou@nagasaki-u.ac.jp　　内　線：2003

１２．申請者の連絡先

部　局：大学教育イノベーションセンター
職　名：教授　　氏　名：吉村　宰
e-mail：osamu@nagasaki-u.ac.jp　　内　線：2117